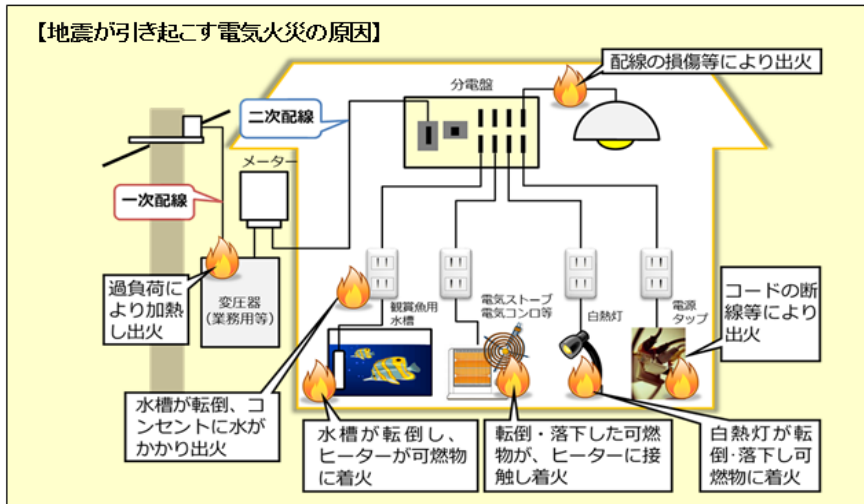




地震が起因で起きる火災について



令和6年1月1日午後4時10分頃に能登半島地震が発生し、地震の揺れや津波による建物の倒壊など多くの被害がありました。中でも輪島市の大規模な火災について、総務省消防庁の消防研究センターは『地震で住宅の電気系統が傷つき、ショート(短絡)や接触不良などが起き、何らかの原因で燃え移り、他の住宅へと飛び火していった』との見解を発表しました。



電気火災が起きる原因はたくさんあるよ！



阪神淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の原因は電気系統が半分以上を占めていました。そこで地震が原因で起こる電気火災の予防策を紹介します。



感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ(内蔵型)	分電盤タイプ(後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5~8万円(標準的なもの)	約2万円	約5,000円~2万円	3,000円~4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

(注) 住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

『感震ブレーカー、感震コンセント』は地震による火災を防ぐことが出来る製品の1つです。他にも色々な防災・防火製品がありますので、まずは身近な所から対策を立ててみましょう。

いつ起こりえるか分からない災害に、少しでも対応するために『日頃からの防災に対する備え』を心がけましょう。

お問い合わせ

射水消防署予防課 56-9481

新湊消防署予防課 82-8337